

ま 真室川町

議会だより

2019年10月28日

No. **148**



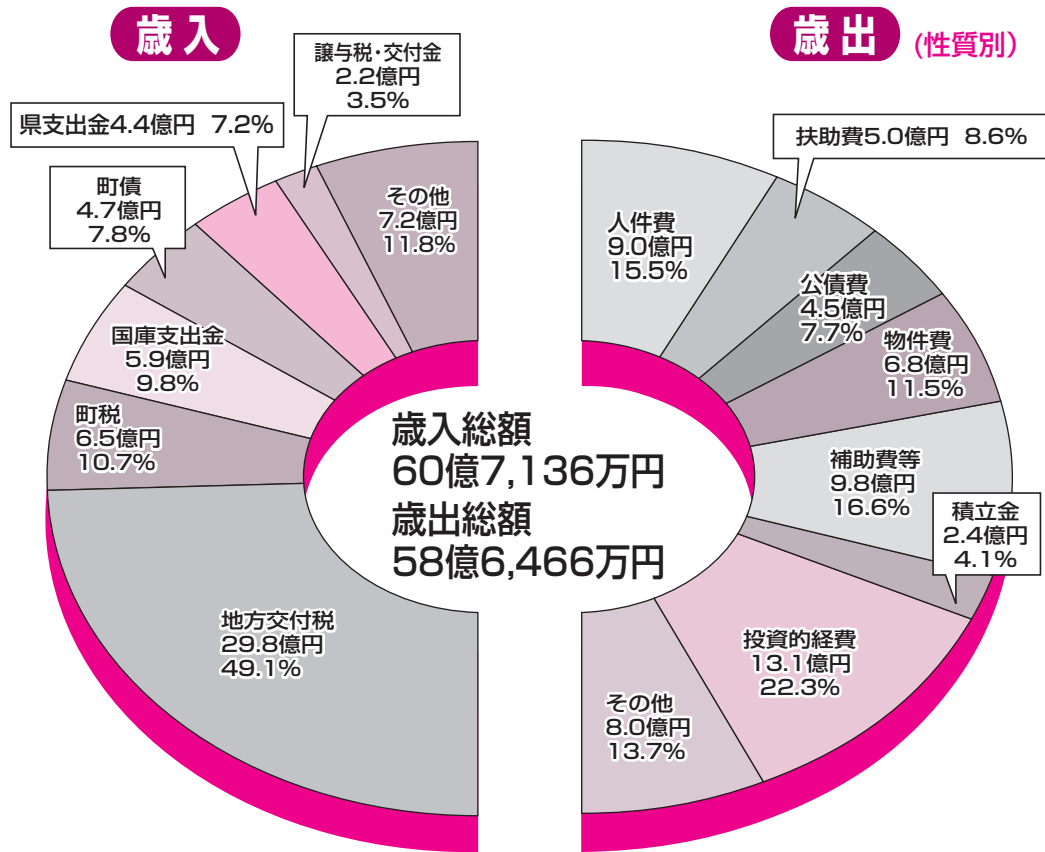
3、4年後には選挙権
～真室川中学校3年生～

梅の里団地を改修（決算審査）	2
経済対策プレミアム商品券（議案審査）	4
一般質問（5人登壇）	5
能代市・五城目町視察報告	10
真室川中学校3年生が傍聴（議会傍聴）	12
町民の声	14

梅の里団地を改修

平成30年度 一般会計・特別会計 総額約90億円の決算を認定!!

◇一般会計の構成



質疑のあれこれ

一般会計

町営住宅の管理

外山正利委員 大半の町営住宅を解体しているが地代は町で支払っている。町有地については違う使用方法や移住を考えた政策をすべき。

建設課長 今後の町営住宅の有り方について都市計画の委員や町民のニーズをしつかり聞いて今後の町としての総合計画の中でも検討を加えていきたい。

健診受診率

佐藤正委員 若い世代の受診率を確立するためにもっと啓発活動を行い受診をして頂くことが大事である。人口減少対策にもなるので、今後は胃がん、大腸がんについても同様に徹底したい。

底した啓発活動を行って頂きたい。

福祉課長 啓発活動は町広報で行う。国、県

でも受診率を上げるためクーポン券の發送制度も出来ており、それらを活用して一次検診受診率のアップに努めさらに二次検診の精密検査に向けての体制を進めて参りたい。

消防総務費

佐藤成子委員 婦人自衛消防隊活動内容は、

総務課長 婦人消防については、食糧供給に於いての活動が主になるが防災訓練に参加したりし、活動している。無い地域に関しては、自主防災組織の方向性

面台。お風呂、給湯器などを改装した。

町営住宅改修工事

佐藤栄子委員 梅の里団地1号棟給排水改修工事450万8400円の工事請負費の内容は。
建設課長 老朽化になっていく給排水改修事業費であり、おもに水回りとして、洋式トイレ、キッチン、洗



改修された梅の里団地

決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長 大友 又治

■一般会計

(歳入)
・町税等について、未収金対策等の強化により徴収率も前年より改善する努力のあとが何えるが、使用料の収入未済額が前年に比べ増額となつてゐる。今後公金負担の公平性を保ちつつ、財源の確保になお一層努力されたい。
・「ふるさと納税」について、さらなる町独自の返礼品を工夫され、引き続き町を支援していただく寄附者や寄附額の増加に向けて努力されたい。

(歳出)
・昨年ハザードマップが町内全戸に配布されたことから、有事の際に有効活用されたい。併せて、災害発生の際に迅速な消火活動が出来るよう、消防団への機材の配備と機能強化

■特別会計

・水道事業特別会計において、有収率向上に向けて、法定年数を超過している配管の早期整備と漏水防止対策の強化を。また、水の安定供給により、さらなる料金抑制と適正な事業運営につなげられた。

・町立病院事業会計について、今年度から常勤医師1名の招聘が実現したことは、町執行部の大変な努力の成果である。引き続き新たな医師確保と併せ、診療所医療体制の向上を経営に努力されたい。

平成30年度 各会計歳入歳出決算状況

(単位: 円)

会計		区分	歳入額	歳出額
一般会計			6,071,363,331	5,864,659,401
特別会計	国民健康保険		87,182,284	86,403,911
	後期高齢者医療		88,635,600	87,814,170
	介護保険		1,203,192,294	1,160,642,132
	病院事業		1,008,458,126	1,003,650,734
	水道事業		344,759,069	372,805,825
	公共下水道事業		103,977,310	103,319,751
梅里苑事業			121,317,401	110,223,463
合計			9,028,885,415	8,789,519,387

固定資産税
平野勝澄委員 県内各地で算定ミスが相次いでいる。幸いわが町では出てきていないようだが、そうした問題の原因はどう把握しているか。わが町でも調査を行っているが内容は、相続される方、相続する方個々では免税

となるのに、合算したため。本町では相続完了していないものは亡くなった方の名を表記して発送しており、全部個々に調べた結果、間違えはない。県の調査にも、問題ないと回答したところだ。

法人税

高橋秀則委員 法人税が減収となつてゐるが内容は、また、農業法人についてはどうか。
町民課長 原因は建設業関係が減額となった。農業法人については、町内15法人あり、内8法人から均等割のほか法人税割を納入して頂いている。

部活動指導員報酬

菅原道雄委員 何名が週何回ぐらい指導にあつてゐるか。
教育課長 1人分で真室川中学校に配置。教員の働きかた改革で、

9月定例会

経済対策プレミアム商品券発行

申請受付中 商品券引換は2月末まで

9月定例会は5日から11日までの7日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、各会計補正予算など、町長提出案件12議案（決算の認定を除く）を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

◆町財政健全化判断比率・公営企業資金不足比率の報告

将来負担比率0.7%
（前年5.5%）

実質公債費比率5.8%
（前年5.6%）

◆教育委員任命に同意
中塚 聖子氏
（川ノ内中）

主な歳出項目	補正額
県営ほ場整備事業負担金	1,777万4千円
経済対策プレミアム商品券発行事業	575万円
町民体育館修繕料	356万円
小学校社会科副読本印刷費	231万円
灯油購入助成事業	222万1千円
矢ノ沢橋橋梁添架配水管更新工事	3820万円
梅里苑修繕費用（落雷被害）	1,100万円

菅原道雄議員 委員の任期について、一期4年では十分の活動ができず短いのでは町長 子育て中の方からという選出であつたため、長期では厳しいものがある。今後は子育て中の方に与えられず

任命していきたい。

◆一般会計補正予算

既決予算61億3420万円に3900万円を追加。

（主な歳出）

経済対策プレミアム商品券

大友又治議員 申請者は何%くらいしている



経済対策プレミアム商品券

か。詐欺対策は。企画課長 9月5日現在で申請は100件程度しかきていない。2万5千円のために2万円の準備は必要ということもある。継続して利用案内をするとともに詐欺等の注意喚起もする。

こども園副食費補助

佐藤栄子議員 子育て支援事業について認定こども園副食費補助金12万1千8百円についての内容は。教育課長 幼児教育無償化に伴い副食費無償化とする補助金である。

緊急風疹対策事業

佐藤成子議員 緊急風疹対策事業についての内容は。福祉課長 国から

の補助金であり、緊急な風疹対策として補正されたもの。

町民体育館修繕

高橋秀則議員 町民体育館修繕料があるが、これは落下した天井パネルの修繕料だと考えるが再発防止も含めた工事になっているのか。また他施設の点検は行ったのか。

教員課長 再発防止も含め十分な点検を行つたうえで落下した部分を修繕する。他施設は点検済である。

菅原道雄議員 はがれても下まで落ちてこない、例えば天井下に網を張るなどの対策が必要ではないか。

教育課長 年度途中ということでなく、計画的にどうあるべきかを検討していく。網については使用に支障のない範囲で、効果も含めて考えていく。

灯油購入助成事業

平野勝澄議員 県で当初予算化する動きは。福祉課長 要項は7月5日付。毎年冬が近づいてきてからだが、県

が早めに出したのは消費税対策の側面がある。

平野勝澄議員 消費税分は補助額に計算されているのか。

福祉課長 灯油の価格は年々変わる。要項上は単価同額で、補助する金額は込みで5、000円。

分館施設整備補助金

外山正利議員 補助範囲、負担割合はどうなっているか、今回何件あるか。

教育課長 これまで新築、増改築、維持保全上必要な修繕だったが、範囲を広げ、10万円以上の畳替えとか、屋根塗装、雪囲いをつくる、加えて施設に付随する、

または固定するエアコン、ボイラー、ヒーター

1等も対象とした。事業費10万円以上、補助は1/3、上限300万円。要望は4件あつた。

青木基金について

菅原道雄議員 基金の活用について伺う。町長 オリンピック出場という名のある基金である。今後もしスキー振興のために活用していきたい。

町道認定について

高橋秀則議員 上程された路線は、私が認識していたことと違いがある。これでは十分と言えないのではないか。建設課長 今回の認定は農地整備に関連して行うものであり、農地整備完成後に新たに認定を行うための準備的なものである。

◆町道詰田沢下小又線

雪崩防護柵設置工事

（契約内容）
○金額 5830万円
○方法 指名競争入札
○相手 ㈲鳥海工業

◆詰田沢橋補修工事

請負契約の締結

（契約内容）
○金額 6050万円
○方法 指名競争入札
○相手 庄司工業㈱
大友又治議員 積極的に進めていくべき事業だ。橋梁の長寿命化計画の進捗状況は。建設課長 平成29年9月16日に地域一括発注で定期点検を実施した。107橋のうち、緊急措置段階は無し。早期措置段階はすべて修繕済み。今年度から予防保全段階の52橋を順次可能な範囲で進めている。今年度は3橋。詰田沢のほか、谷地ノ沢橋2号橋、内の沢橋を予定している。

町長 総額や緊急度の問題があり、すべてを

◆梅里苑事業

特別会計補正予算 既決予算1億890万円に1100万円を追加。

（その他の議案）

◆印鑑登録等条例改正

◆真室川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営

◆真室川町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する条例改正

◆町道の認定について

◆介護保険特別会計

補正予算

◆水道事業特別会計

補正予算

補正予算

町政を問う

次頁から

「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いたですものです。

（●印は要約して掲載しています）

- 菅原 道雄 議員 P 6
●6次産業化の現状は
- 平野 勝澄 議員 P 6
●消費税増税にあたり中小事業者への影響は
- 外山 正利 議員 P 6
●新田町長公約の達成状況及び今後の課題は
●水道事業の安定化について
- 佐藤 成子 議員 P 8
●町民と協働のまちづくりについて
- 佐藤 栄子 議員 P 8
●いきいきと働き個性を創るまちづくりとして

6次産業化の現状は

町長

今年12月新推進計画を策定する



菅原 道雄 議員

議員 町6次産業化推進計画を策定し、もうかる産業を目指し事業を進め、5年の計画年度を終了、その成果はどうであったか。また、今後の推進計画は。梅の実の商品開発も必要と考えるが。

町長 平成26年6月、20名の会員で「あがらしやれ真室川」が設立され、現在26名の会員が活動されている。差首鍋地区生涯学習セン

ター「まざれや」で惣菜と漬物を、健康管理センターで缶詰食品を製造し、まわるがわ逸品展や梅まつり、マルシェおら家などのイベントで、対面販売や森の停車場、もがみ物産館での販売、パッケージのリニューアルに取り組んでいる。

公園内の梅の実で梅漬けとカリカリ梅を製造し、「やん梅漬け」として販売。「やん梅漬け」を使ったソフトクリームやアイスクリームを開発し、イベントなどで販売を試行している。10年ほど前から梅酒「梅里苑」は真

消費税10%への対応は

町長

国の情報を紹介し、事務負担軽減
制度の周知に努める



平野 勝澄 議員

議員 消費税を負担するのは消費者だが、納税義務者は事業者だ。機械的に「税込み価格」も2%上げる、というわけにはいかない部分があり、増税分の一部または全部を事業者が自ら負担せざるを得ないことも考え得る。今回はインボイス適格請求書制度も導入される。この制度においては、仕入れ時の消費税を控除するには、適

格請求書が必要になる。免税事業者はこのインボイスを発行することができず、中小零細の事業者が取引から敬遠、排除されることにもつながりかねない。個人事業主、農業者なども対象になる。町内で影響を受ける事業者は。また、十分な周知と相談対応は欠かせないが、町長の考えは。

町長 免税事業者は申告の必要がないため、本町における免税事業者数は確認できていないが、財務省試算では全国では全事業者の約6割が免税事業者と推計している。

新田町長の公約の達成状況は

町長

町民の皆さんが明るい展望を持って頂く
一定土台を築く事が出来た



外山 正利 議員

議員 新田町政が誕生しまもなく2年になるうとしている。6項目の主たる公約の達成状況は。

町長 就任以来、「町民の皆さんが、生きがいを感じ、幸せを感じられるまちづくりを基本理念に町民の皆さんと対話をかさね、町民の皆さんにお示した公約に責任をもって取り組みで来た。公平公正を第一に町政座談会

を開催し広く町民の皆さんと対話を重ね施策・事業を反映してきた。次に子育てしやすい環境整備は、乳幼児から自立まで「子育て」と捉え0歳から2歳児の入所に対して施設の改修等、高校生の医療費の無償化・小中学校の副教材費無償化を実現し、県営圃場整備事業の推進・林道の整備・全国山菜サミットの招致・移住定住の促進の為、推進協議会の立ち上げ雪や災害に強い道路の整備・消防団の施設・設備・装備の更新等危機管理の強化を図ってきた。就

室川ブランドに認定され、町内2か所で販売されているほか、ふるさと納税の返礼品としても皆さんから支持されている。

さらに「あがらしやれ真室川」では、新商品の共同開発に向けて試作しており、町として意欲ある事業者に可能な支援を行う。

農産物の流通や販売経験者、商品開発経験者、そのノウハウがある人、農家民宿、農家レストランに関心のある人など新たな協力隊員の確保に努める。

向こう5年間の計画を策定するため、



町産品の梅を使ったやん梅漬け

山形6次産業化サポートセンターなど、専門家の指導を仰ぐとともに、現場の意見等を踏まえ検討している所で、今年12月まで策定し、本町の産業振興が図られるよう6次産業化の推進に取り組む。

周知、相談体制は、一義的には国が整えるべきものだ。町としては、町内事業者に対して、国が提供している情報や準備されている相談体制、説明会等について、パンフレットの配布、町ホームページ、役場窓口での紹介等により、国の情報に触れる機会の提供に取り組

んでいる。もがみ北部商工会でも制度理解の促進に取り組んでいるところだ。また、免税・課税に関わらず、レジの補助金など事業者の事務負担軽減への支援もあり、制度の紹介や関係団体への取次など、商工会と連携を図りながら丁寧に対応していく。

ばあちゃん赤しそどり	198%	さんま電田揚げ塩麹仕立	235%
味わいレモンソー	98	割引	30%
キリンザストロングト	140	秋の味覚弁当	-71
ハウスジャワスパイ	238%	割引	50%
スープカレーの匠レトル	468%	クノールスープデリの	98%
モンスターゼロ	188%	スープデリ	えびグラタン
味覚糖 狩人めしエナジ	98%	TVB P ストロングレモ	115
牛乳石鹸青バスサイズ	198	-196℃ゼロシークワー	138
小計	¥1,626	小計	¥812
外税 8%対象額	¥1,190	外税 8%対象額	¥559
外税 8%	¥95	外税 8%	¥44
外税10%対象額	¥436	外税10%対象額	¥253
外税10%	¥43	外税10%	¥25
合計	¥1,764	合計	¥881
クレジット	¥1,764	現金	¥1,031
お釣り	¥0	ID: 0114	
		お釣り	¥150

8%と10%の税率が混在したレシート

任時に感じていた閉塞感・停滞感から脱却し町民の皆さんが明るい展望持つて暮らせる町づくりに一定の土台を築くことができたものと考えている。

水道事業の
安定化について

議員

県は水道経営の基盤強化のため連携等の推進に関する協議を行うための協議会の設置が可能になった。町長の考えは。



平岡地区の圃場整備

町長 参加について十分に検討し判断していく。

議員 真室川町水道事業中長期ビジョンの策定は。

□「町民と協働の町づくり」更なる推進策は

町長

■「町民が主役」のまちづくりに向けて取り組んでいく



佐藤 成子 議員

議員 座談会での若者や女性の意見を今後どのように反映させていくのか。

町長 提案や要望などは、地域担当職員が報告書として取りまとめ、政策調整会議などで情報を共有し丁寧な対応を行っている。検討が必要な事を整理しながら、より多くの若者や女性の意見に耳を傾けられる機会となるように努力していく。

うに努力していく。

議員 20代、30代の若者支援の考えは。

町長 「まむろがわ移住委員会」を組織し、若者の視点から移住・定住施策に関する意見や提案を頂き町政への参画を進め、若者支援の取り組みを進めている。

議員 人口減少を緩和させる為の対策は。

町長 若い世代のUターンや定住促進及び出生率回復に向けた施策を展開し、人口減少ペースを緩やかにする土台作りを掲げている。

議員 移住・定住して

□いきいきと働き個性を創るまちづくりとして

町長

■廃校や空き施設の有効的な活用策について検討していく



佐藤 栄子 議員

議員 廃校跡地・旧大滝小学校と旧平枝小学校の活用方法について、現在旧大滝小学校の駐車場は、ドクターヘリのランデブーポイントに設定されている。

また、校舎は避難所や避難物資などの保管場所になっているが、利活用の申し出企業などについて伺う。

町長 8月の議会全員協議会において、町内

企業から利活用の申し出があった。社員の福利厚生や、集会所・交流スペース、移住も想定した内容で、現在不動産鑑定士による土地、建物の鑑定評価や固定資産の評価を行っている。

議員 旧平枝小学校は、文科省の「未来につなごう、みんなの廃校プロジェクト」に掲載されているが、利活用について問い合わせなど現在どうなっているのか。

町長 旧大滝小学校と同等にドクターヘリのランデブーポイントに

町教育関係者との懇談会

◇7月16日(火)

議会では例年町教育関係者（教育委員、小中学校校長・教頭、教育委員会事務局）との懇談会を開催しております。

今年度のテーマ「真室川町教育振興計画について」特色ある教育活動の推進について

町では、平成28年に教育の振興に関する施策を策定し、教育行政を推進してきました。町総合計画との整合性を図り、教育行政全体の課題に対応する計画が必要であるとし、平成31年2月「真室川町教育振興計画」を策定し、今後5年間計画に基づき教育施策の一層の推進を図るとしています。



この計画についての概要に基づき、現在開講中である公営塾の運営、幼児教育費無償化の対応をはじめとし、子どもの人口推移や部活動の在り方など、計画実行にあたっては人材・予算の確保が不可欠であるなど意見が交わされました。

また、各学校での特色ある取り組みについても事例紹介があり、教育行政に関する理解を深めたところです。

もらうための取り組みは。

町長 協議会では、住民視点での移住・定住推進施策の立案のため定期的に情報交換等を重ねながら今後の事業展開への提案を行っている。協議会を核とした全町的な取り組みを進めていく。

議員 出生率回復に向けた取り組みは。

町長 結婚・出産・子育て・ライフステージに応じた支援を実施している。

出産支援については、



今年度、不妊治療の助成対象を拡充したほか、新たに1歳未満の乳幼児の家庭保育に対する月額3万円の支援をするなどの充実を図っている。

議員 企業誘致の取り組みは。

町長 第5次真室川町総合計画後期基本計画において、工業の振興のための施策の方向として、広域的観点も見据えた企業誘致で若者が定着する環境整備に努め、着実に進めていく。

指定されており、又選挙の際の投票所や地区の行事で活用されている。以前何回か企業の打診があったが成約には至っていない。今後公募していく。

議員 町施設の空き施設があるが、漆センターや、旧安楽城小西郡分校などについてはどうか。

町長 西郡分校について

では、閉校後に個人や企業から打診があったが実現していない。

漆センターについては、今後障害者福祉のための利用を想定している。

議員 誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくり推進のために新たな事業にも積極的に取り組んでいただきたい。



利用が待たれる旧平枝小学校

議員定数・報酬見直しを

議会改革調査特別委員会で議論

6月定例会において住民参加型の開かれた議会をめざし、議会改革並びに議会活性化について調査・研究を行うため、議会改革調査特別委員会を設置しました。

○委員定数 9名

委員長 佐藤 正
副委員長 菅原道雄

○調査項目

・議員定数
・議員報酬等

今、全国の自治体でも、議員定数・議員報酬をはじめとした諸課題が活発に議論されています。

県内町村議会でも議会議員選挙において定数割れや無投票となる自治体が出ています。全国の地方議会に行わ

れたアンケート調査の結果では、議員のなり手不足といった問題が生じており、議会への関心の薄れ、報酬の水準といったことが背景にあることも指摘されています。

こうしたことから、県内町村議会では、議員のなり手不足解消に向けた特別委員会を設置、また、議員報酬についても増額とした議会も出てきています。

当町の議会においても、こうした課題を克服し、なお一層町民福祉の向上につながる議会活動をめざし、調査研究を行い、次期改選期（令和3年3月）までに新たな見直しを行うこととしております。

議会のうごき

令和元年7月～10月

- 8月5日(月) 要望活動(新庄・湯沢道路整備促進同盟会)
 - 6日(火)～7日(水) 要望活動(国道47号・新庄酒田道路整備促進同盟会)
 - 17日(土) 姉妹都市古河市との交流会
 - 20日(火)～21日(水) 常任委員会県外先進地視察研修(能代市、五城目町)
 - 25日(日) 沖縄中部広域議会議員交流・意見交換会
 - 26日(月) 町議会運営委員会、全員協議会
 - 27日(火)～28日(水) 山形・秋田・岩手3県合同議長、事務局長中央研修会
 - 9月5日(木)～11日(火) 町議会第3回定例会
 - 25日(水) 町農業委員会との懇談会
 - 26日(木) 最上地方・市町村議会議長会
 - 27日(金) 町連合婦人会との交流会
 - 10月2日(水) 四町村(戸沢村、鮭川村、金山町、真室川町)議会議員交流
 - 3日(木)～4日(金) 村山・荘内・最上三地方町村議会議長合同会議
 - 11日(金) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会、全員協議会
 - 最上地区広域連合議会運営委員会、全員協議会
 - 13日(日) 第46回東京真室川会総会
 - 16日(水) 県町村議会議長会議員研修
 - 17日(木)～18日(金) 置賜・最上両地方町村議会議長合同会議
 - 21日(月) 最上広域市町村圏事務組合定例会
 - 23日(水) 最上市町村議会議長会議員研修
 - 24日(木) 最上地区広域連合定例会
- ※この他、町主催の行事にも出席しております。

※「春夏秋冬」は今回お休みします。

「協働のまちづくり」のとりくみは、高齢化率も県内トップの水準で、人口減少対策として地域づくり活動支援事業に加え、移住対策にも重点を置いていた。廃校を活用したレンタルオフィス、空き家の活用、首都圏からの



五城目町での研修

- ②生活環境等維持管理業務 (H19～)
 - ③まちづくり活動チャレンジ支援事業 (H30～)
 - ④まちづくり活動支援交付金 (H24～)
 - コミュニティ生活圏形成推進事業 (R1～)
- (事業概要)
現在の様な町内会単位の活動中心ではなく

複数集落でまとまり、7地区ごとを目安に取り組む。
(令和元年度)
・地域人口の現状把握、分析
・将来の人口予測
・持続可能な地域の将来予測を行なうこととした。
(令和2年度以降)
・地域の具体的な目標を設定するため、地域

運営組織を設立、各種事業について協議する。
(例)伝統行事継承、地区内の有償運送、集落コンビニの設立等。
(視察を終えて)
●「白神ねぎ」10億円販売達成までの取り組みについて、平成21年当初は、ネギ生産品質はB級・C級のランクであったが、品質向上

のために品質検査を特に重要視してきた。B級品であっても厳しい検査の下きちゃんと区分し出荷、官民一体となったプロジェクトチームで、補助制度、知名度向上対策にも積極的取り組み、着実に質の向上及び作付面積の増反に結び付いてきた。
当町においても、農

家の安定経営に向けた各種補助金を拡大しているが、生産者個々の反収増、品質向上、生産意欲向上といったスキルアップが不可欠であることから、引き続き関係機関と連携を図られ、生産者の意識向上につながることを期待したい。
●五城目町における

移住者への補助、雪対策をはじめとして、農業・商業者への研修・体験を行うことによつて起業家を目指してもらうなど取り組む。
人口規模、取り巻く環境など当町と類似している点も多くみられ、今後の元気なまちづくりにむけた事業に参考としたい。

8月20日～21日にわたり、総務文教・産業福祉常任委員会合同で秋田県能代市、五城目町に行政視察を行いました。

園芸作物のメガ団地化により、年間販売額10億円を達成しブランド品に成長させた「白神ねぎ」栽培の取り組みや、人口減少の課題解消に向け町民と町が一体となって、地域を元気にする活動支援事業の取り組み等について、内容を要約して報告します。

秋田県能代市

(概要)

・人口52,819人
(H31年3月末)
(H31年3月末)
・世帯24,367
・面積 426.95km²
(市の沿革・特色等)

平成18年3月、能代市と二ツ井町が合併。市の特色として、スポーツの盛んなまちとして知られ、日本人初のNBAプレーヤー選手を輩出した能代工業高校バスケットボール部においては、通算58回の全国優勝を飾るなど、「バスケの街づくり事業」に力を入れている。

その他、石炭を主燃料にした火力発電所、日本海に面した風力発電所も稼働している。

【大規模園芸拠点整備】
■「白神ねぎ」10億円販売額達成に向けて

プロジェクトチームを発足

新規作付者、生産面積の増加で年々販売額が増加傾向となり、ねぎ部会とJAあきた白神の悲願である10億円販売達成まであと一歩となった。

秋田県山本地域振興局、能代市、藤里町、JAあきた白神ねぎ部会の賛同で、平成25年2月に「白神ねぎ」10億円販売達成プロジェクトチームを発足。

- 3つの方針
- ①作付面積の増反推進
- ②販売単価の向上
- ③反収のアップ

●園芸メガ団地育成事業
野菜や花きの産出額を飛躍的に向上させるため、県の農業政策トップ事業に位置付けられ、園芸メガ団地育成事業の紹介がなされ

た。

(実施基準)

・1団地あたり最低販売額1億円以上
・品目を絞り込む
・原則1箇所に団地化
・周年農業で年間雇用の創出に努める
等の取り組みが功を奏し、悲願であった販売額10億円を達成した。



能代市での研修

品目	販売額	部会規模
白神山うどん	9405万3千円	40名
白神みょうが	1億2274万1千円	131名
アスパラガス	2260万6千円	19名
白神キャベツ	8083万9千円	57名
白神ねぎ	15億1931万4千円	158名

秋田県五城目町

(概要)

・人口9,188人
(H31年3月末)
(H31年3月末)
・世帯4,025
・面積 214.94km²
(町の沿革・特色等)

昭和30年3月、五城目町、馬場目村、富津内村、内川村、大川村の5町村が合併。急峻な山岳地帯から肥沃な水田地帯まで変化に富んだ農業と林業の農山村であるとともに、中心部には約500年の伝統を誇る露店朝市が栄え、製材、家具、建具、打ち刃物、醸造業と商店街が発達し、商工業都市を形成している。

- 【協働のまちづくり】
- 元気な地域づくり活動支援事業
- ①元気な地域づくり活動支援事業 (H25～H28)

みんなで議会傍聴

真室川中学校3年生

9月定例会、決算審査特別委員会を真室川中学校3年生58名が傍聴しました。「自分たちに関係あることも話し合われている」と驚きの声も。一部抜粋して紹介します。



柿崎 琉衣さん

今まで僕は、真室川町が、どんなことをして、どんなことを課題にあげているのか、全く考え事がなかったけど、自分が知ろうとしていないだけで、真室川の役員さん達で、色んなことを考えているんだなと思いました。

黒坂 渉さん

自分には難しすぎて話しが分からなかったけど、真室川町を今よりも、もっとよりよくするために真剣に話し合う姿を見て、やっぱりすごいなと改めて思いました。

齋藤 瀬菜さん

真室川町も変えようと思えば、きっと変えられると思います。議会のみなさんだけでなく、自分たちもできることがあると思うので、少しでもいいから真室川町に貢献したいと思いました。

佐藤 雫さん

町民の意見に耳をかたむけて、要望に答えるために、できることはないのかということを考えていると思います。だから、私も真室川のためにできることがあればしたいと思いました。

佐藤 祐平さん

真室川では今こんな問題が起こっているんだと初めて知ることばかりでした。それを知るとともに自分は問題を解決するために、自分たちも協力することが大切になり、そして、自分たちがどう行動するかが必要になってくると感じました。

高橋 好花さん

このような議会をしていることを初めて知った。議員さんたちは、真室川の人々のためによりよい意見を出し合っていたので、とてもありがたい気持ちになった。自分たちが知らない中でこのような会議が行われていてびっくりしました。

高橋 環さん

ふるさと納税の額が去年よりも減っている事について、町長さんが「額も大切だけど一番は寄付してくれる心が一番大事だ」と言っているのを聞いて確かにその通りだと思いました。

高橋 奈々さん

議会で話し合われている内容は、議員さん達だけではなく、真室川町民に関わってくることだと思うので、議会が出た案について町民も考えるべきだと思いました。

小野 来武さん

話し合いの中のはりつめた空気は、とても緊張感がありました。町の色々なことを決めていることが知れて、それを自分の目で直接見ることができて、とても良い体験ができたと思います。

阿部 綾音さん

とても静かだったので緊張しました。どの質問のときにも、しっかり納得するまで質問をすることを繰り返していたので、町をさらに良くしていくために真剣に話し合いをしてくださっていることが分かりました。

小野 陽向さん

真室川町をよりよくするために一生懸命に取り組んでいることがよく伝わってきて、町のために、こんなにたくさんの人たちが意見を出し合っていたのだなと思うと、とてもありがたさを感じ、自分も町のために小さなことでも、協力したいと思いました。

高橋 優衣さん

一人一人が納得するまで質問を繰り返して、だからこそ、よりよい真室川町になるのだと実感し、真室川中学校の生徒議会などで自分から取り入れていきたいと思った。

小坂 拓真さん

実際に議会を見て迫力がすごかったです。机の上に難しそうな資料がありました。自分は政治にはうといので内容はよく分からなかったが、生で議会を見た以上は、もっとニュースなどを見て政治に興味を持てるようにしたい。

質問 どのようにして議員になれるのか。

回答 町内在住3か月以上で25歳以上の日本国民なら、原則誰でも議員に立候補でき、選挙で町民に選ばれれば議員になれます。

齋藤 隆之介さん

今、自分たちは政治についてよく分からないし、よく知ろうともあまりしていませんが、三、四年後には選挙権があり、政治に関わっていくことになるので、少しずつ政治について興味を持てていきたいと思った。

質問 町の議会の頻度はどのくらいか。また、予定ではなかった日に急遽議会が開かれることはあるか。

回答 定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）。その他、随時臨時会や全員協議会などがあります。急遽開かれる場合がありますが、数日前までには招集の連絡があります。

布目 望来さん

質問する側は、一回答えをもらっても、そこから新しく質問していく場面も見て、1つの内容に質問や答弁を繰り返すことで理解が深まり、より明確なものになると思いました。台本がない中で質問や答弁にその場で対応できるのは、すごいと感じました。



真室川中学校3年生の声

高橋 蓮さん

まず、議場に入った際、とても緊張感があり、会議に参加している方々の真剣さがひしひしと伝わってきました。最初の議題は、僕達にも関係のある部活動補助員の話でした。話し合いは、一人の議員さんが質問をし、それに対する回答をする人が挙手し議長が指名し、発言。その話に対して、議員さんがまた意見を言ったり、質問を変えたりするというような流れで行われていました。先程の議題では、給料の話や増員の要求、現状など様々な話し合いが行われていました。また、タイムーがあり、時間が計られていて、一人30分程の時間があるようでした。

今年は例年に比べ執行率が高く、計画通りに、予算が使われてきたことを知り安心しました。その後、税収の話になっていました。今後、人口が減ること、町の税収も減る厳しい状況になるというところで、自分も真室川のことを考えていかなければいけないと思いました。難しい内容や言葉が多かったですが、真室川のために全員が協力し、真剣に話し合う場を見ることができ、とても貴重な体験になりました。

傍聴お待ちしています

● 次回の
定例会は

12月です

平成30年の本会議議事録は
町ホームページでもご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは

議会事務局まで

☎62-2111 (内線205)

議会広報常任委員会

委員長	平野 勝澄
副委員長	佐藤 栄子
委員	佐藤 正
委員	佐藤 成子
委員	高橋 秀則

(佐藤 正)

日本の年号も平成から令和に改まる。最初の9月定例会、町においては役場庁舎の新築工事が始まり、庁舎周辺の町民の皆様には迷惑をお掛けしておりますがご協力、宜しくお願い致します。

今議会は平成30年度の予算を執行した結果どのような成果をあげたかを示し、その結果を予算と照合し検討して今後の町財政運営に役立てていく大事な決算報告の機会であります。定例会の傍聴に区長会、また真室川中学校の生徒の皆さんが、昨年に引き続き授業の一環として傍聴に訪れ、その感想文を頂いております。町民の多くの皆様に読んで頂ければ幸いです。

編集を終えて